

# みんなの学校 上映会

2020年2月16日(日) セシオン杉並 視聴覚教室にて  
“みんなの学校” 無料映画会を行いました。  
77名というたくさんの皆様に足を運んでいただき、盛大に終わることができました。

この映画の舞台である大空小学校は、一般の公立小学校ですが特別支援教育の対象となる子や、自分の気持ちをうまくコントロールできない子どもみんな同じ教室で学びます。児童と教職員だけではなく、保護者や地域の人と一緒に不登校ゼロ、だれもが通い続けることができる学校の様子を追ったドキュメンタリー映画です。

映画会当日は雨の降る中、予約以外の方もきていただき立ち見ができるほどで、この映画への皆様の関心の高さを感じました。映画会終了後は、残っていた方と懇談会を開き、日頃悩んでいることや、支援教育に関する率直なご意見等も聞くことができました。たくさんの方からいただいたアンケートを抜粋させていただきます。



小学校入学前から「特別支援」は切り離しが行われていると感じています。60年前にそういう事のない小学校には待てない子が来ていて当たり前でした。今は「本人のため」ということで切り離されています。残念です。たくさんの教育委員会や校長先生に見てほしい映画です。(女性 60代)

おどろくと、いよかをしていたときに、じぶんかんかえてふかおかりしていたのや、いよかおもしろい。せとせいか、おどろくこと、かんかえていて、ふかおかりな、いよかおもしろい。か、いよか、おどろくこと、かんかえていて、ふかおかりな、いよかおもしろい。これからは、いよか、おもしろい。 (女性 6歳)

相手を知ること、自分のできることを考えられるようになるよう、娘たちにも伝えていきたいです。(女性 30代)

自分の住んでいる地域に近い場所で以前上映会がありました。仕事で行くことができませんでした。今日は参加させていただきありがとうございます。教育に関係する仕事をしているので、この映画から多くのことを改めて考えました。子どもだけでなく、大人・年をとった人など助け合っていく世の中だとお互い週こしやすくなると思います。(男性 40代)

大人も子どもそれぞれが一生懸命生きていくことに感動しました。困難も迷惑も排除することなく生きていくためには真剣に向き合うことが必要で、その向こうには生きる社会はできないのではと思いました。(女性 50代)

教育の原点を見たような気がします。私は教員をしているものですが、現場ではうまくいかないことばかりです。その中でも、子ども達と真摯に向き合い、日々戦っている姿勢、そして誰一人排除しないで、子どもと向き合うその姿勢こそ教員の改めて思い直しました。ありがとうございました。(男性 30代)

校長先生が語った先生(皆)を変えた一人の生徒の話が感動的でした。一人一人に向き合って誠実に悩んでくれる先生がいてくれて大空小はいいな~と思います。友人の子がADHDで今春小学校に入学します。学校が安心して通える場であってほしいです。(女性 60代)

場所は大阪ですが、大空小のような学校があるということを知っているだけでも、親としては安心感があります。形は違えど、あんな気持ちの学校が増えてくれるといいです。(男性 30代)

障がい者の入所施設で支援員をしています。40代以上の方は、学校での教育をうけていない方も多くいます。障がいにも関係なく、多くの人に見ていただきたい映画だとおもいました。(女性 20代)

すべての学校が、大空小学校になればいいと思います。地域のコミュニティが壊れつつある中、教育者だけが力になれるだけでなく、親が、地域の人々がなにかできるか？考えさせられました。

私は建築設計を業としていますが、学校空間はどうあればいいのか？の観点でも見ていました。片廊下の教室でも大空小学校のような教育ができるなら、もっと学び舎を改善すればいいと思います。たとえば、職員室の位置、コミュニティルーム、食堂しかりです。あの校舎が運動場ありきで設計されていたが、それが正解なのかなと思いました。本日は予約もせず参加させていただき、本当にありがとうございました。(男性 50代)

公立小学校の支援級で担任をしています。日々の学校組織や大人が子どもにする対応に疑問を感じることも多いのですが、この映画を拝見し、大人が大事にすべきことは集団行動のための指導ではなく、一人一人が何をゴールにするか？一人一人の個を大切にするための周りの動き方だなと思いました。先生方も子ども達も生き生きとしていて、本当に心温まる映画でした。開催していただきありがとうございました。(女性 20代)

校長先生をはじめ先生方一人一人が子どもを受け入れ子どもを伸ばす姿に感動しました。(男性 40代)